

Certified Nurse



認定看護師ニュース NO.38

2024年10月発行
舞鶴共済病院 看護部 認定看護師会

秋晴れの心地よい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
今回は、8月におこなった、いきいき教室（一般向け）研修について報告します。

2024年8月1日
中筋小学校

クリティカルケア認定看護師
田中 健太郎

「児童は熱中症になりやすい」をテーマに中筋小学校で研修を行いました。

「小児熱中症の特徴、熱中症を早期に見抜くポイント、初期対応や万が一の時の急変対応など」教職員の皆様と情報を共有しながら楽しく学びました。

教職員の方々の児童を本気で守ろうとする熱い姿勢を肌で感じ、こちら学びの多い有意義な研修となりました。



2024年8月19日
西舞鶴

緩和ケア認定看護師
松岡 実和

西舞鶴のある地区に、ACP（人生会議）について皆さんと一緒に考える機会をいただきました。（この地区は昨年に引き続き2回目でした。）

参加者9名は全員男性で（平均年齢82.7歳、最高齢は自転車で参加の97歳!）、その半数は昨年も参加されていた方々でした。

ACPの概要や必要性など説明したのち、皆さんで話をしながら自分の価値感を知るというワークを行いました。終始和気あいあいとした雰囲気、「たまにはこんな話をせなあかん」「こういうことをしたんは初めてや」など話をしながら、改めて自分自身の価値観に気づかれたようでした。

自分自身や自分を取り巻く周囲の状況は変化するため、何度でも繰り返し、大切な人と色々な話をしてもらう重要性、特別な時間を設けなくても日常的に今のように将棋やゲームなどされる際などにでも、今日のような話をってもらうこともいいとお伝えしました。

この地区のように、病気になってからではなく、元気なうちからACPについて考えていただけたらと思います。

ACP（Advance Care Planning）とは？

将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、患者さんを主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援するプロセスのことです。患者さんの人生観や価値観、希望に沿った、将来の医療及びケアを具体化することを目標にしています。

日本医師会パンフレット 終末期医療アドバンス・ケア・プランニング（ACP）から考える：2018年4月 より引用

